

与 論 町 長

殿

与論町教育委員会教育長

与論町議会議長 沖野一雄

令和6年度与論町各会計決算審査意見の申入れについて

町議会の活動につきましては、かねてから多大な御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、令和7年第3回与論町議会定例会において実施した令和6年度与論町各会計決算審査の結果、町議会としての意見を集約決定しましたので、下記のとおり申し入れます。

つきましては、今後の行財政運営の改善に役立て、決算審査の意義や目的が果たされるよう御配慮ください。

記

町議会としての意見

- 1 住民票の交付等各種窓口サービスについては、現在進められている「書かない窓口」システムを始め改善が進められているが、今後もコンビニ交付システム等役場以外で証明書の発行が受けられるよう引き続き住民の利便性向上に努めること。
- 2 ギンネム繁茂による影響は島全体に及んでおり、道路や農道の視界不良やため池管理の障害となり、他の草木が生えなくなるなど様々な弊害をもたらしている。これまでも多面的機能支払交付金の活用等各種施策により伐採等駆除作業を行っているが、伐採後の処理についてもラブセンターの利活用を含め、町民挙げての総合的な対策を図ること。
- 3 路線バスやタクシー等の島内移動手段については、一般町民や高齢者及び観光客の利用にタクシーへの偏在化が見られる。路線バスの有効活用やタクシーの運行状況改善など、利用者に不便を来さないようあらゆる可能性の調査に取り組むこと。
- 4 アボカド等の試験栽培の作物が新たな特産品・加工品となるよう引き続き検証と努力をすること。

- 5 慢性的な住宅不足解消を図るため、公営住宅法による整備事業や町単独の整備事業及び空き家改修事業に引き続き取り組むと共に、公民連携型その他住宅整備に資する事業の可能性調査を含めた総合的な解決に取り組むこと。
- 6 クリーンセンターの維持管理については、今後施設の老朽化に伴い修繕費用の増加等が予想される。他の大型公共事業も控えているため、競争入札の導入など経費節減の取り組みを常に心掛けること。
- 7 ジャングリアの開業は沖縄からの誘客、特に姉妹盟約先である国頭村や沖縄北部からの誘客に大きな効果をもたらすものと考ええる。この絶好の機会を逃すことなく、観光客増に寄与する取り組みを積極的に行うこと。
- 8 新学校給食センターの整備については、敷地条件や施工体制の複雑さ等様々な課題があると思われる。このため地元関係者を含めた総合的な体制づくりを図り、課題解決のための丁寧な議論を心掛けること。
- 9 浄水化施設の更新について、現在の国庫補助採択基準が令和 13 年度以降となっているが、現在の施設状態では基準緩和の上前倒しで実施する必要がある、そのための国県等関係機関への働きかけを積極的に行うこと。